



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第411号

## 2022年11月27日より実施される ミサ式次第の変更箇所について(第1回)

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

今回より、数回にわたって2022年11月27日の待降節第一主日から実施する「ミサ式次第と第一～第四奉献文の変更箇所」についての説明をすることにいたします。カトリック新聞や、お配りしている『新しい「ミサ式次第と第一～第四奉献文の変更箇所」』などで何度も目にしていることと思いますが、いま一度、ただ言葉を覚えるのではなくて「ミサ」そのものについて深める機会となれば嬉しいです。

ご承知の通り、現在の『ミサ典礼書』(司祭がミサの際に用いている大きな本)は1978年12月より使用しているものですが、これは1975年に発行された『ラテン語規範版第2版』を元に訳されて1978年12月より使用されています(第2バチカン公会議後から各国の母国語の『ミサ典礼書』は規範版を訳し、バチカン典礼秘跡省の承認を受けて使用しています)。しかし、日本語訳のものについては全訳されておらず暫定的に承認を受けて使用していました。そこで、全文の翻訳作業を進めるため、2000年6月から正式な『ミサ典礼書』改訂委員会が発足したのですが、改訂作業に取り掛かった矢先、2001年3月に翻訳のための指針が出され、より忠実な翻訳作業が求められるようになったこと、さらに2003年3月に『ラテン語規範版第3版』が発行されたことなどを受け、改訂作業を一旦白紙に戻さざるを得なくなりました。その後、多くの協議を重ね2021年5月に「ミサの式次第と第一～第四奉献文」、「ミサの結びの祝福と会衆のための祈り」、「水の祝福と灌水」の日本語訳改訂版の式文が承認され、今年11月27日の待降節第一主日より使用されることが決まったという次第です(したがって、式次第の全文、その他の式文などはまだ承認されていません)。※詳細についてはお手元の『新しい「ミサ式次第と第一～第四奉献文の変更箇所」』をご参照下さい。

習慣づけることは大切なことですが、身についたものの意味を深め続けなければ、習慣は残念ながら繰り返すだけのものとなってしまいます。この機会に、わたしたちが繰り返し捧げているミサそのものが感謝と喜びのうちに、より深まっていきますように。

阿蘇・くじゅうへのバスハイク・・・2面  
信徒総会・聖像制作経緯について・・・3面  
幼稚園から・・・・・・・・・・・・4面  
委員会等報告・・・・・・・・・・・・5面  
お知らせ・こころの会・・・・・・・・6面



## ベトナム人の技能研修実習生 阿蘇、くじゅう花公園へのバスハイク



5月22日、晴天に恵まれて、日本で働く若者達24人と添乗員(高齢者!)2人は、バスによる日帰り小旅行を楽しみました。

日頃の仕事を忘れ、爽やかに皐月の風が吹く大自然の中で思いっきり羽根を伸ばしていました。

バスの中では早速カラオケが始まり、アップテンポのリズムに合わせて身体を揺らせ手拍子を打ち、楽しむ様子が。

阿蘇の仙酔峡では長い階段の途中で息切れ(!)する添乗員を気遣いゆっくりと一緒に登ってくれました。彼らは年配者に対してとても親切です。

阿蘇連山の一つ高岳を見上げる展望台広場でブルーシートを広げてBGMを聴きながらお弁当の時間!

くじゅう花公園では、装いを新たにワンピースやミニスカートに着替えた女子たちは、咲き乱れる花畑、庭園の中を軽やかな足取りで進んで行きました。コースの終わり近くには花菱草の広大な花畑が広がり、周囲には芝生の広場。オレンジ色と緑のコントラストが美しい風景をさらに強めて癒されますー♪♪

添乗員の岩本さんがガーデンチェアでくつろいで、パイプを燻らせているクールな姿を見つけたニャットさんがパイプを貸して～とねだり、チェアで真似る姿に大笑いが～

大きな木の下にブルーシートを広げてお喋りしたりギターに合わせて歌を歌い、緑陰の若者たちは節度を守りながら楽しく集団行動を続けました。帰り道には数人が日本の温泉を経験しました。(ベトナムの露天風呂では裸になる事はなくて水着を着て入るそうで、何事にもチャレンジする勇気に拍手)

早朝からの一日を大自然の中で仲間と過ごして教会へ到着したのは8時近く、夜の始まり頃でした。

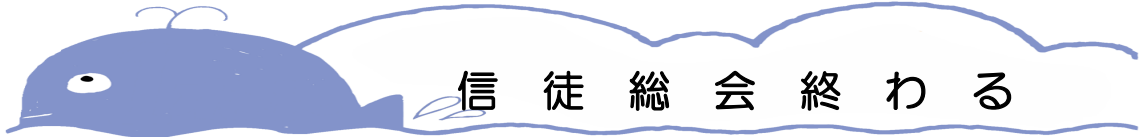
**#カラオケマシン**

**#ブルーシート**

**#ギターは**

どこに行くのにも彼等の必須アイテムです。





## 信徒総会終わる

コロナ禍もようやく落ちついて来た5月29日統合ミサ後、久方ぶりに信徒総会が開かれました。総会は、谷口神父様の「教会は“希望のしるし”とならねばならない」との挨拶から始まりました。一号議案では小教区委員小グループの紹介が行われました。ここでは新しい委員のみご紹介します。

小教区副委員長として野田真由美さん。財務委員・坂本初美さん、典礼委員・副として浜村誠・浅田敏行さんが当たられることになりました。また冠婚葬祭委員として松尾恵子さん、営繕委員・岡部成敏さんがそれぞれ小教区委員として委員会にあたられます。

小グループでは教会学校リーダー会は谷口神父様、聖歌隊に金成根(キム・ソングン)さん、クリストフォル岡部和子さん、図書に豊永真理子さん、ふれあい会に吉田久枝さん、聖書の分かち合いに小野照代さん、新しい小グループとしてこころの会が発足され、岡本輝夫さんが委員に就かれました。

2号議案として年間行事計画、3号議案2022年度予算案がそれぞれ決議されました。4号議案は聖堂屋根の葺き替えの件が報告されました。葺き替え工事に合わせて排煙窓機能再開のための工事内容も併せ決議されました。



先月号で掲載した  
**聖堂十字架上の聖像製作経緯について**



作製経緯を知るために、5月29日に開かれた総会で「ご存知の方はどんな情報でも…」と呼び掛けたところ様々な情報が寄せられました。また、当時の主任司祭であった竹森神父様、信徒会長であった馬込さんにも電話で取材しました。

そこで分かった経緯をお知らせします。竹森神父様によると「十字架だけで聖像のない教会なんてプロテスタントみたいだ」という思いから信徒にはかり、聖像を設置することにしました。しかし誰に依頼するかで頭を抱えていたところ、「黙想の家」の聖体を安置する聖櫃を作製されたのが洋画家であり彫刻家でもあった横尾龍彦氏であることが判明。早速黙想の家を訪ねて詳しい情報をおききました。そこで氏が戸畑教会の信徒であることを知らされ、戸畑教会で氏にお会いして直接作製依頼をしたということです。

材料の木材は横尾氏の東京のアトリエに「ちょうどそれにふさわしい木があるから」ということで提供を受けたそうです、費用は信徒の寄付と神父様の私費で賄ったそうで、竹森神父様によると「60万円から70万円」であったということでした。



## 水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 7月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

### 〈水巻聖母幼稚園〉

年長さんがミニヒマワリ・あさがお・ふうせんかずらの3種類の中から、種を選び、自分の鉢に植えました。毎日、水やりと観察をしている年長児さん。芽が出てきて、たくさんお話をしてくれます。



畑で育てていたジャガイモを収穫しました。3種類のジャガイモを植え、土を掘ると沢山のジャガイモが出てくることに子どもたちは大喜びしていました。土を触って、自然に触れる時間はとても良い時間ですね。掘ったあとは、夏野菜を植えました。また、大きく育てて収穫するのが楽しみです。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : [coutactus@mizumakiseibo.ed.jp](mailto:coutactus@mizumakiseibo.ed.jp)

### 〈マリア子どもの家〉



イチジク盗難事件 6月6日(月)早朝、「赤くなったね、いつ採ろうか？」5年目にして、やっと実をつけたイチジクです！その日は県の監査の日で、忙しく過ぎました。

8日(水)早朝、子ども達と庭に行くと、「あれー？」三分の一程かじられた実が落ちていました。「誰が??」「きっとカラスの仕業でしょうね。」「せめて、ご馳走様でした、くらいは言ってほしいなあ。」「残念!」「やっぱり残念!」その後、イチジクの甘い匂いに誘われてか、アリのいっぱい来ていました。「アリさんも、ご馳走様になれて良かったね!」



9日(木)には、ジャガイモ掘りをしました。「よいしょ、よいしょ」と引きました。子芋が、こんなふうにつくのですね。割れたお芋の面にはダンゴ虫が4~5匹付いていました。ダンゴ虫さんも、ご馳走様でした!

TEL : 050 5212 7759

HP : マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同

# 委員会等報告

2022年6月分

## 6月度小教区委員会 6月5日

### 1. 行事予定

- ・7月 3日(日) ミサ9時～1回のみ
- ・7月10日(日) 小教区委員会
- ・7月10日(日) 18時～ベトナム語ミサ
- ・7月17日(日)9時ミサ後～日本語交流会
- ・7月24日(日) 9時ミサ後～こころの会
- ・7月24日(日)～8月27日(土)  
聖堂屋根葺き替え工事期間
- ・7月31日(日) ミサ9時～1回のみ  
アバイヤ司教の公式訪問日のため

### 2. 議題

#### (1) 各委員会報告

##### ① 広報委員会

・祭壇上部の十字架像に関し、北九州市立美術館より製作者についての問い合わせがあった。今後、設置された経緯について竹森神父や当時の信徒会長に問い合わせしてみる。

##### ② 総務委員会

・9月18日(日)に敬老の方へお祝いを行うが、そのための名簿整理を地区委員に委託(実数把握のため)。次回の小教区委員会で提出してもらう。

#### (2) 3年ぶりの信徒総会を終えて

・指摘された「建設献金規約」の修正について。→文言の修正、加筆を行ったので確認を。

#### (3) 訃報の際の連絡手順について。

遺族より連絡を受けた主任司祭は冠婚葬祭の会代表に一報。その後、代表から各地区委

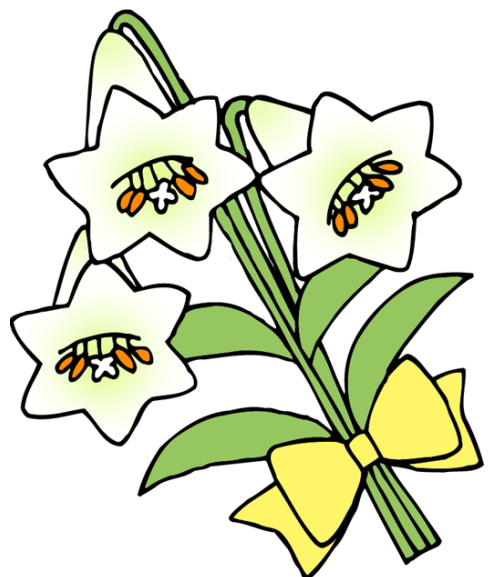
員へ連絡することに統一する。

(4)「宣教司牧方針」に沿った具体的な活動のために

・2022年度『福岡教区ハンドブック』が発行され、水巻教会についての情報欄にはフェイスブック(Facebook)についても明記してある。福嶋氏に依頼し、実際にどのように使用することで、どのような情報を得ることができるのかを信徒全体に向けてレクチャーしていただく・

・ふれあい会、共同募金活動、抱樸支援会などを再開する。

・新たな活動を始めるにあたり、「宣教司牧方針」を読み終わった後に意見箱を設置。具体的な案を吸い上げて小教区委員会より発信することにする。





# 7月のおしらせ

## ★9時ミサのみです★

●日 時：7月3日(日) 9時～  
大分教区森山新司教の叙階式参加のため

●日 時：7月31日(日) 9時～  
アバイヤ司教様の公式訪問ミサのため

この2日は、9時からのミサ1回だけです。  
ご注意ください。

なお、ミサ時間は変更になることがあります。  
ミサ中のお知らせや週報で確認してください。

## ★特別献金★

世界広報の日献金 19,725円  
ご協力、ありがとうございました。

## 人・ひと

### 【帰天】安らかに！

◇5月23日

西村 ハルエさん(折尾地区)

◇6月14日

入江 義彦さん(中間地区)

## こころの会

### 第4日曜日は、教皇様にお会いしましょう

上映計画を発表します。

- 1.日本のキリスト教の歴史
- 2.在日ウクライナの現状とキリスト教
- 3.世界遺産に登録。長崎、天草の教会群。6話
- 4.遠藤周作作品 3話
- 5.旧約聖書 ヘレトの言葉。6話
- 6.ベトナムの風景。3話

ほか「天地創造」(175分)なども予定しています。

おおよそ、1話60分程度を2回に分けて上映する予定です。

今後、ミサが現行の2部制から、全面的に1部になった場合、上映内容、

時間に関してどう対処したらよいかを考えています。

ちなみに、現行の上映時間は30分程度です。

